

**事業の必要性 : 地域の連携・交流促進**

東播磨地域と北播磨地域の移動時間が短縮。  
地域間の連携・交流の促進が期待される。



地域間の移動時間が約10分短縮

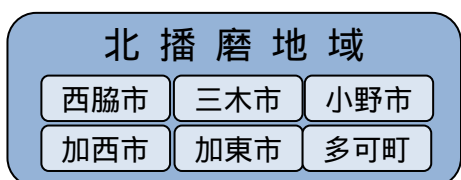
51分 41分

36分 26分

八幡稲美ランプ以南整備済の所要時間  
全線整備済の所要時間

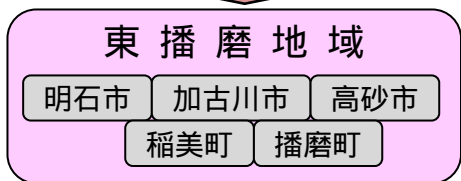
移動時間は全線完成時の数値

**【東播磨地域 北播磨地域間の流動】**  
流動量

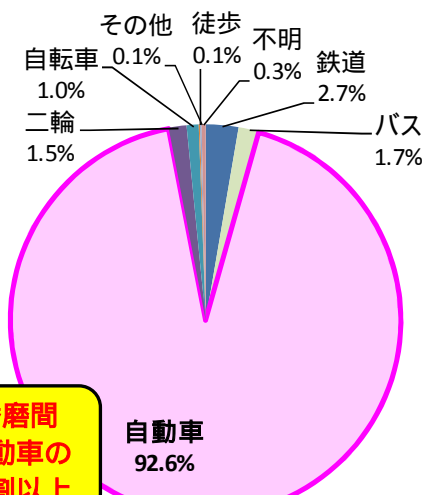


約 50,000 人/日

北播磨-東播磨間  
で1日あたり約5  
万人の流動



**交通手段別流動量の割合**



北播磨-東播磨間の  
移動は自動車の  
依存度が9割以上

第5回近畿圏内「ソートリップ」調査（平成22年）

期区間の状況

神野ランプ ~  
県立加古川医療センターランプ (供用区間)



渋滞状況

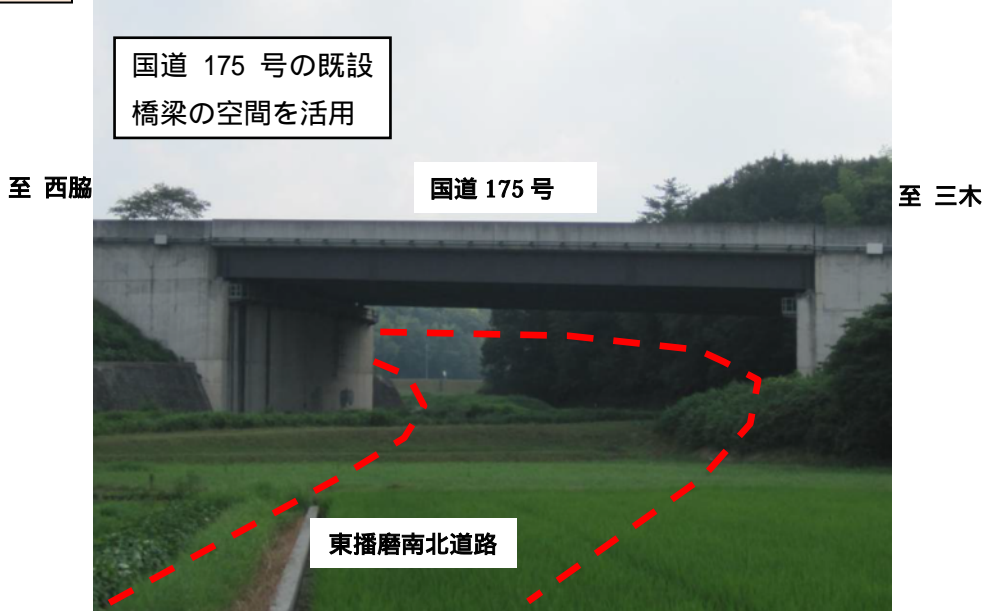
上荘橋東詰交差点 (左岸上流側)

宗佐交差点 (南流入部)



期区間

国道 175 号との JCT の構造



## 1. 実施工程表

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33
調査設計								
用地補償								
道路改良工事								
橋梁下部工事								
橋梁上部工事								

## 2. 事業効果について

### (1) 費用対効果

#### 便益(B)の項目

事業	B (便益)	算出単位
道路	走行時間短縮便益 目的地までにかかる時間が短くなることによる便益	整備無しの走行時間費用 - 整備有りの走行時間費用 走行時間費用: (交通量 × 走行時間) × 時間価値原単位 × 365 日
	走行経費減少便益 交通の流れがスムーズになり燃費などが向上することによる便益	整備無しの走行経費 - 整備有りの走行経費 走行経費: (交通量 × 距離) × 走行経費原単位 × 365 日
	交通事故減少便益 交通事故が減少することによる便益	整備無しの事故損失額 - 整備有りの事故損失額 事故損失額: [ 交通量 × 距離 × 交差点以外の事故損失原単位 + 交通量 × 主要交差点数 × 交差点部事故損失原単位 ]

#### 費用便益比(B / C)算出根拠

事業	事業名	B (便益)		代表的な効果	C (費用)			B/C
		便益額 (億円)			総費用 (億円)	事業費 (億円)	維持 管理費 (億円)	
道路	東播磨南北 道路 (加古川小野 線)	走行時間 短縮便益	352	時間短縮 26分 21分 (小野市役所 ~ 加古川市役所)  交通量: 16,800 台/日	244	222	22	1.7
		走行経費 減少便益	42					
		交通事故 減少便益	20					
		計	414					

感度分析 B/C=1.1 ~ 2.1(交通量 ± 10%)、1.6 ~ 1.9(事業費 ± 10%)、1.6 ~ 1.8 (事業期間 ± 20%)

### (2) 費用対効果に含まれない主な効果

東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮により、地域間の連携・交流を促進  
加古川医療センター(3次救急医療機関)へのアクセス時間短縮による救急医療体制の確保  
東播磨地域と北播磨地域を結ぶ災害時の主要な緊急輸送道路  
通過交通の転換による市域の沿道環境の改善

## 道路・街路事業の効果

### (1) 費用対効果

効果項目（費用対効果の便益内容）	
走行時間短縮	目的地までの時間短縮
走行経費減少	走行速度の向上や走行距離の短縮による、燃料費の節約等
交通事故減少	交通事故の減少による人的損害額、物的損害額及び渋滞による損失額等

### (2) 費用対効果に含まれない効果

印は当該事業効果の主な項目

評価の視点	効果項目	該当する事業内容	
安全・安心の確保	災害時 緊急医療・緊急物資の円滑な輸送の確保 (緊急輸送道路の整備、防災拠点・災害拠点病院へのアクセス道路の整備)	緊急輸送道路である加古川小野線のバイパス 県立加古川医療センター（災害拠点病院）へのアクセス	
		H16 台風 23 号で冠水被害を受けた加古川小野線の代替機能の確保	
		盛土区間等浸水時の避難場所の確保	
	平時	救急医療体制の支援	北播磨地域の医療機関と県立加古川医療センター(3次救急)との医療連携の強化
		交通安全対策	通過交通のバイパス転換による、地域の交通安全の確保
地域の活性化	地域間交流の促進	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による交流の促進	
	中心市街地の活性化	沿岸部と内陸部の移動時間短縮によるアクセス強化	
	地域産業の活性化	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による地域産業の相互連携	
	観光支援	東播磨地域と北播磨地域の移動時間短縮による観光資源の相互連携	
	地域プロジェクト等支援	-	
円滑な交通体系の確保	公共交通機関利用の促進 交通結節機能の向上	渋滞解消に伴う路線バスの定時性確保	
地域の環境改善	沿道環境の改善 景観形成	通過交通がバイパスへ転換することによる沿道環境の改善	

### (3) 地域からの要望状況等

要望状況等	沿線の4市2町で構成された東播磨南北道路建設促進期成同盟会は、早期整備の必要性について地域住民の理解と協力を求める啓発活動や、事業用地の取得に協力するなど、地域の協力体制が充実している。 地元対象の現場見学会の実施や様々なイベント開催を通じて、地元と十分に連携を図り事業を進めている。
-------	---